

クリシタン
宗門類族・御改帳他系の総合研究

北村清士

昭和四十年九月二十五日に、大野郡緒方町字軸丸の旧大庄屋跡高野好古氏を訪問した。流石に旧大庄屋だけに種々の貴重な文献を保存されているのに驚いた。引続いて同町小宛阿南武士氏、原尻羽田野次郎氏を九月二十六日に、大野町窪山片友幸氏を十月十六日に、同町小原甲斐孝憲氏を十二月十八日、竹田市炭竈古庄小梅氏を四十一年九月十一日に、竹田市九重野安達正孝氏を四十二年一月二日に訪問して、古文書や断簡を借覧し、主として転切支丹類族資料を取材した。その内には中喰いで判読に相当苦心した点もあったが、反読数次の中にその意味もほど了解して、いづれも得難い貴重な資料ばかりであった。その結果竹田新町系、三宅組小峯系、大形組(朝地町)、板井迫組(同)市万田組(同)、矢田組(大野町)、軸丸組(緒方町)、井上組(同)小宛組(同上)、冬原組(同上)、河宇田組(同上)、小野市組(三重町)、伏野組(三重町)、有氏組(久住町)等の類族系統がおぼる

げながら浮揚ってきた。茲には、その中で重なる印象的な資料のみを載せ、その他は後日に譲ることとした。

古切支丹四拾八歳の転。

この与三郎父中務と申す者、百三年以前に薩摩との弓箭に、軸丸高尾ノ城に而討死仕由承り伝へ申し、与三郎母の儀は吟味仕候共知不申候。

注① 中務の姓は堀氏、天正十四年薩摩の將伊集院美作守、伊知地民部と交戦々死。

△一、与三郎

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有之処に、正保三年十二月十二日に七十九歳に而、病死直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

注② 十川(そうがわ)は竹田市大字挾田字十川はある。

古切支丹右与三郎の妻四拾三歳の転。父母組中古老之者打寄り吟味仕候共、年久敷儀に而知不申候。

△一、くり

右之女、夫与三郎一所に罷有之処に、正保元年八月二十四日に七拾式歳に而病死仕直入郡十川眞宗滝上寺に而土葬。

古切支丹、右与三郎娘六歳の転。此くう延宝五年十月七日に六十歳に而病死と天和三年公儀へ上る御帳面に有之候。

行年相違無二御座一候。

△一、くう

右之女大野郡片ヶ瀬村夫与三郎一所に罷在候処に、天和三年十月十九日に七拾五歳に而病死、直入郡十川真宗滝上寺に土葬。

右之与三郎子長崎より御戻し

△一、四郎右衛門

直入郡十川真宗 当辰七拾六歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有処に、寛文十三年三月二十四日に長崎よりの仰越被_レ召捕一長崎被_レ遣、同年八月二十三日御領へ御戻し被_レ成下自在村に百姓罷有候。

右与三郎不_レ転以前之子本人同前

△清左衛門

右之者軸丸組下自在村百姓仕罷在之処、万治元年五月十七日五十

五歳に而病死、大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右与三郎孫四郎右衛門不_二召捕一已前之子

△一、八郎左衛門

直入郡十川真宗 当辰五拾貳歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有候。

右与三郎孫四郎右衛門不_二召捕一以前之娘

△一、かけ

大野郡小宛村真宗 当辰四拾六歳
南林寺旦那

右之女、大野郡軸丸村夫市左衛門一緒に罷有

△右与三郎夫婦類族

新キ

右与三郎転以後之子

△一、庄太夫

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有之処。寛文五年五月十二日四拾九歳に而病死大野郡小宛村禪宗天徳寺土葬。

右与三郎娘庄太夫後家

△一、あかい

大野郡小宛村禪宗 当辰六拾六歳
天徳寺旦那

此あかい小宛組字辻村了雲 不_二明_一むこ次郎右衛門妻きさ娘にて、御座候に付小宛帳了雲に御書入被_レ出候。

右之女大野郡軸丸組下自在村に罷有候。

右与三郎孫庄太夫子

△一、伊太夫

大野郡小宛村禪宗 当辰四拾歳
天徳寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有。

右与三郎孫庄太郎夫子

△一、杉右衛門

大野郡小宛村禪宗 当辰三拾四歳
天徳寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村居住小処に、当分御内役仕、江戸御下屋敷居申候。但御与は佐田宇左衛門殿組に御座候。

注① 佐田宇左衛門は第六代藩主中川久恒公の家臣、江戸下屋

敷は芝口二丁目。(北村注)

右与三郎曾孫伊太夫娘

△一、やま 大野郡小宛村眞宗
南林寺旦那

当辰拾四歳

右之者大野郡軸丸組下自在村父伊太夫一諸に罷有。

右与三郎曾孫伊太夫子

△一、善七郎 大野郡小宛村禪宗
天徳寺旦那

当八歳

右之者大野郡軸丸組下自在村父伊太夫一諸に罷有。

右与三郎曾孫与九郎後家

△一、ふみ 大野郡小宛村禪宗
天徳寺旦那

当辰四拾四歳

右之者大野郡片ヶ瀬村に罷有候。

右与三郎曾孫ふみ子

△一、新三郎 直入郡挾田与柴栗村
眞宗源勝寺旦那

当辰拾四歳

右之者大野郡片ヶ瀬村百姓仕罷有候。

右与三郎曾孫ふみ子

△彌三郎 直入郡挾田与柴栗村
眞宗源勝寺旦那

当辰拾歳

右之者大野郡片ヶ瀬村兄新三郎一所に罷在候。

右与三郎曾孫ふみ子

△乙五郎 直入郡挾田与柴栗
眞宗源勝寺旦那

当七歳

右之者大野郡片ヶ瀬村兄新三郎一所に罷在候。

右与三郎係甚五郎妻庄太夫娘

△一、せん 大野郡小宛村禪宗
天徳寺旦那

当辰三拾七歳

右之者大野郡井上組打越村父甚五郎一所に罷在候。

右与三郎曾孫せん子

△一、重太郎 直入郡竹田村眞宗
光西寺旦那

当拾四歳

右之者大野郡井上組打越村父甚五郎一所に罷在候。

右与三郎曾孫せん子

△一、忠次郎 直入郡竹田村
眞宗光西寺旦那

当四歳

右之者大野郡井上組打越村父甚五郎一所に罷在候。

右与三郎曾孫せん娘

△一、いん 大野郡小宛村禪宗
天徳寺旦那

当辰拾歳

右之者大野郡井上組打越村父甚五郎一所に罷在候。

右与三郎曾孫せん娘

△しゆん 大野郡小宛村
禪宗天徳寺旦那

当七歳

右之者大野郡井上組打越村父甚五郎一所に罷在候。

右与三郎曾孫せん娘

△いま 大野郡小宛村禪宗
天徳寺旦那

当辰七歳

右之者大野郡井上組打越村父甚五郎一所に罷在候。

右与三郎転び以後之子

△一、次兵衛 直入郡十川一向宗 当辰六拾歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷在候。

右与三郎娘次兵衛妻

△一、けし 大野郡井上村禪宗 当辰五拾三歳
大禪寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村次兵衛一諸に罷在候。

右与三郎孫次兵衛子

△一、忠六 直入郡十川眞宗 当辰三拾七歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父次兵衛一諸罷在候。但当年田近又

衛門様へ掛御奉公仕居候。

右与三郎曾孫忠六子

△一、巳之助 直入郡十川一向宗 当巳七歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父忠六一所罷在候。

右与三郎孫次兵衛子

△一、勘太郎 病死

右之者大野郡軸丸組下自在村父次兵衛と一諸に罷在候処、延宝二年六月二十七日に四歳に而病死仕り、直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

右与三郎孫次兵衛子

△一、新内 直入郡十川眞宗 当式拾九歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父次兵衛一諸に罷有候処に、貞享式

年九月六日より田近又右衛門様に質御奉公仕居候。

右与三郎孫次兵衛娘

△一、まん 大野郡井上村禪宗 当辰二拾七歳
大福寺旦那

右之者、大野郡直北村百姓彌平次に縁付仕、夫彌平次一所に罷有

候。

右与三郎転び以後之娘、弥吉妻

△一、あい 病死

右之者、大野郡軸丸与下自在村夫弥吉一諸に罷小処、寛文四年六月二十五日に四拾七歳に而病死、大野郡田仲村眞宗最乗寺土葬。

右与三郎聲あい夫

△彌吉 病死

右之者大野郡軸丸与下自在村百姓仕罷有候処、万治三年十一月二十四日に四拾七歳に而、病死直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

右与三郎孫あい子

△一、喜右衛門 直入郡十川眞宗 当辰四拾四歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有候。

右与三郎孫あい娘鉄右衛門後家

△一、いわ 直入郡十川眞宗 当辰三拾七歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村罷在候。

右与三郎孫あい子

△一、小八郎 直入郡十川 眞宗 当辰三拾歳 滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村兄孫吉一諸に罷有候。

右与三郎転已後之子

△一、長兵衛 大野郡井上村禪宗 当辰六拾八歳 大福寺旦那

右之者大野郡牧組宗福寺百姓仕罷有候。

右与三郎娘長兵衛妻

△一、よし 病死

右之女大野郡牧組宗福寺村夫長兵衛一諸に罷有候処、寛文五年十月十日に四拾五歳に而病死、大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右之外に与三郎類族無^二 御座一候。

◎四郎右衛門類族

右与三郎娘、四郎右衛門妻

△一、きく 病死

右之女大野郡軸丸組下自在村夫、四郎右衛門一諸に罷有候処に、

延宝式年八月十五日に六拾壹歳に而病死、直入郡十川眞宗滝上寺に

土葬。

右四郎右衛門舅

△一、清右衛門 病死

右之者大野郡井上組打越村に百姓仕罷在候処に、承応元年六月三

日七拾九歳に而病死、直入郡竹田眞宗光西寺土葬。

右四郎右衛門姑

△あかい 病死

右之女大野郡井上村与打越村清右衛門一諸に罷有候処に、寛文六

年七月十四日八十四歳に而病死、直入郡竹田眞宗光西寺土葬。

右之外、四郎右衛門類族無^二 御座一候。

◎くう類族

右与三郎聲くう夫

△一、与三左衛門 直入郡挾田組柴栗村 当辰八拾壹歳 眞宗源勝寺旦那

右之者大野郡片ヶ瀬村百姓仕罷在候。

右くう舅

△一、善右衛門 病死

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有候処に、寛永九年三月三

日に六拾壹歳に而病死直入郡挾田与柴栗村眞宗源勝寺土葬。

右与三郎孫くう子

△一、鉄右衛門 病死

右之者大野郡片ヶ瀬村百姓仕罷有候処に、天和式年九月十九日に

四拾式歳に而病死、直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

右与三郎姑善右衛門妻

△志ん

病死

右之女善右衛門一所に罷有候処に、万治三年七月朔日に八拾壹歳

に而病死、直入郡挾田村柴栗眞宗源勝寺土葬。

右与三郎曾孫鉄右衛門子

△一、慶円（座頭）

直入郡十川眞宗 当辰拾貳歳
滝上寺旦那

右之者大野郡片ヶ瀬村祖父与三左衛門一諸罷有候。

右与三郎孫くう子

△一、彌三右衛門

直入郡挾田組柴栗村 眞宗源勝寺旦那 当辰三拾五歳

右之者大野郡片ヶ瀬村百姓仕罷有候。

右くう婿彌三右衛門妻

△一、しな

直入郡竹田禪宗 豊音寺旦那 当辰三拾壹歳

右之女大野郡片ヶ瀬村夫彌三右衛門一諸に罷在候。

但此女寛文十三年御改帳には片島組岡村、安右衛門後家孫と書上

げ候。

右くう孫弥三右衛門娘

△かや

直入郡十川町一向宗 当辰壹歳
滝上寺旦那

右之女、父弥三右衛門一所ニ罷有申候。

但此弥三右衛門妻しなは片島与岡村安右衛門後家孫、後家不召

捕一 以前娘本人なり。玉来組与阿蔵村吉之丞後家のために吉之丞し

な娘に御座候に付、片島与帳面に書載申候。

右与三郎孫くう娘

△一、塩みつ

直入郡飛田組平村 法花宗円福寺旦那 当辰五拾壹歳

右之女大野郡片ヶ瀬村夫治右衛門一所に罷有候。

右しう聲塩みつ夫

△治右衛門

直入郡竹田眞宗 光西寺旦那 当辰六拾貳歳

右之者大野郡片ヶ瀬村に而百姓罷有候。

此治右衛門別帳に書申し無二御座一候。

右与三郎曾孫くう孫塩みつ子

△平太郎

直入郡飛田組平村 法花宗円福寺旦那 当辰貳拾貳歳

右之者大野郡片ヶ瀬村父治右衛門一諸罷有候。

右与三郎曾孫くう孫塩みつ娘

△まり

直入郡飛田組平村 法華宗円福寺旦那 当辰拾八歳

右之女大野郡片ヶ瀬村父治右衛門一諸罷有候。

右与三郎孫くう娘

△長みつ

大野郡今市村眞宗 安楽寺旦那 当辰四拾五歳

右之女大野郡片ヶ瀬村夫吉介一所ニ罷在候。

右くう聲長みつ夫

△吉介 直入郡律原組馬場村 当辰三拾九歳
眞宗満徳旦那

右之者大野郡片ヶ瀬村百姓仕罷在候。

右与三郎曾孫くう孫長みつ子

△孫太郎 直入郡律原組馬場村 当辰八歳
眞宗満徳寺旦那

右之者父吉介と一所に罷有候。

右与三郎孫くう転以後の子

△太兵衛 直入郡飛田組平村 当辰五拾二歳
法花宗門福寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷在候。

右与三郎孫くう娘太兵衛妻

△まん 大野郡井上村禪宗 当辰四拾貳歳
大福寺旦那

右之者太兵衛と一所に罷有候。

此女之先夫同村金右衛門と夫婦罷在候内他界申し男子出生仕。離

別仕候処、以後太兵衛と一所罷成男女四人出生仕候。

右与三郎曾孫くう孫太兵衛娘

△つね 大野郡井上村禪宗 当辰拾五歳
大福寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父太兵衛一所罷在候。

右与三郎曾孫くう孫太兵衛娘

△さよ 大野郡井上村禪宗 当辰貳歳
大福寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父太兵衛一所罷在候。

右与三郎曾孫くう孫太兵衛子

△三太郎 直入郡飛田組平村 当辰九歳
法花宗門福寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父太兵衛一所に罷在候。

右与三郎曾孫くう孫太兵衛子

△九市郎 直入郡飛田組平村 当辰六歳
法花宗門福寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父太兵衛一語に罷有候。

右くう聲くろ夫

△四左衛門

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候処に寛文拾貳年八月

二十一日に五拾五歳ニ而病死仕大野郡小宛村禪宗天徳寺土葬。

右与三郎曾孫転以後の娘くう娘の四左衛門後家

△くろ 直入郡挾田組柴栗村 当辰六拾歳
眞宗源勝寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村罷有候。

右与三郎曾孫くう孫くろ子

△惣吉 大野郡小宛村禪宗 当辰三拾八歳
天徳寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有候。

右与三郎曾孫本人くう孫くろ子

△又三郎 病死

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷在候処に貞享元年七月十八

日三拾七歳に而病死仕大野郡小宛村禪宗大徳寺土葬。

右与三郎清左衛門娘

右与三郎玄孫本人くう曾孫又三郎娘

△ふり 大野郡井上村禪宗

大福寺旦那

当辰三拾四歳

△くり

大野郡上自在村
眞宗入樂寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村に罷有候。

右之者大野郡軸丸組下自在村伯父惣吉に一所に罷有候。

但父母病死仕、下人九歳養育仕居申候。

右与三郎曾孫本人くう孫くろ子兵之丞妻

□□の姑

△こま

直入郡挾田組柴栗村
眞宗源勝寺旦那

△孫左衛門妻

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村夫兵之丞一所に罷有候。

右之者大野郡左衛門と一所に罷在候処に、五拾八年以前に病死仕申

右くう孫くろ娘園之丞妻

年寺所知れ不_レ申候。

△たね

直入郡挾田組柴栗村
一向宗源勝寺旦那

右与三郎曾孫清左衛門孫

右之者大野郡軸丸組下自在村夫園之丞一所に罷在候。

△佐介 大野郡井上村禪宗
大福寺旦那

当辰二拾五歳

右与三郎玄孫本人くう曾孫こま娘

右之者大野郡軸丸組下自在村に罷在候処に、貞享四年八月十六日

△しろ

直入郡挾田組柴栗村
眞宗源勝寺旦那

に助之進様に相对御奉公仕居候。

右之者大野郡軸丸組下自在村父兵之丞一所能在候。

右与三郎玄孫。右清左衛門曾孫。佐介子

右之外にくう類族無二御座一候

△孫六 大野郡井上村禪宗
大福寺旦那

当辰五歳

◎清左衛門類族

右之者大野郡軸丸組下自在村に罷有候。

右与三郎娘清左衛門妻

右与三郎玄孫右清左衛門曾孫佐介子

△ほそ

病死

△善次郎 大野郡井上村禪宗
大福寺旦那

当辰式歳

右之者大野郡軸丸組下自在村夫清左衛門一所に罷有候処、寛文元

右之者大野郡軸丸組下自在村に罷有候。

年正月晦日、五拾七歳に而病死大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右之外に清左衛門類族無二御座一候。

◎八郎左衛門類族

右四郎左衛門娘八郎左衛門妻

△ちよ 直入郡十川眞宗 当辰四拾六歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村夫八郎左衛門一所に罷在候。

右八郎左衛門舅

△源兵衛 病死

右之者大野郡片ヶ瀬与大久保村百姓仕罷在候処、延宝六年五月九

日に五拾七歳に而病死、直入郡葎原組馬場村眞宗満徳寺土葬。

右八郎左衛門姑源兵衛妻

△ほそ 病死

右之者大野郡兵衛一所に罷在候処に、承応元年四月十六日に二十九

歳に而病死、直入郡葎原与馬場村眞宗満徳寺土葬。

右与三郎曾孫四郎左衛門孫、八郎左衛門子

△長太郎 直入郡十川眞宗 当辰拾貳歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父八郎左衛門一諸罷在候。

右与三郎曾孫右四郎左衛門娘

△いろこ 直入郡十川村眞宗 当辰八歳
滝上寺旦那

右之者父八郎左衛門と一所に罷在候。

右与三郎曾孫右四郎左衛門孫八郎左衛門子

△七十郎 直入郡十川眞宗 当辰貳歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村八郎左衛門一所に罷在候。

右与三郎曾孫四郎左衛門孫八郎左衛門子

△長三郎 病死

右之者父八郎左衛門一所に罷在候処、延宝五年十月十五日に七歳

に而病死、直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

右与三郎曾孫四郎左衛門孫八郎左衛門子

△安之丞 直入郡十川眞宗 当辰一拾七歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷在候。

右八郎左衛門娘安之丞妻

△けん 大野郡井上村禪宗 当辰一拾七歳
大福寺旦那

右之者父安之丞一所に罷在候。

此けん大形組大渡村本人長藏姪清左衛門にて御座候に付、大形組

長藏帳面に御書入破^レ出候。

右与三郎玄孫四郎左衛門曾孫八郎左衛門孫安之丞娘

△まさ 大野郡井上村禪宗 当辰六歳
大福寺旦那

右之者父安之丞と一所に罷在候。

右与三郎玄孫四郎左衛門曾孫八郎左衛門孫安之丞子

△孫十郎 直入郡十川眞宗 当辰貳歳
滝上寺旦那

直入郡十川眞宗

右之者大野郡軸丸組下自在村父安之丞一所に罷在候。

右与三郎曾孫四郎左衛門孫、八郎左衛門子

△喜平次 直入郡十川一向宗 当辰貳拾五歳
滝上寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父八郎左衛門一諸に罷在候。

右八郎左衛門娘喜平次妻

△にく 大野郡井上村禪宗 当辰貳拾歳
大福寺旦那

右之女大野郡軸丸組下自在村夫喜平次一所に罷有候。

右八郎左衛門伯父

△助左衛門 直入郡竹田町 当辰八拾五歳
眞宗光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村百姓仕罷有候。

右八郎左衛門從弟左衛門子

△權三郎 直入郡竹田町眞宗 当辰五拾四歳
光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村百姓仕罷有候。

右八郎左衛門從弟助左衛門子

△太郎兵衛 直入郡竹田町眞宗 当辰四拾九歳
光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村百姓仕罷在候。

右八郎左衛門從弟助左衛門子

△庄三郎 直入郡竹田町眞宗 当辰三拾三歳
光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村百姓仕罷有候処に当分御内役仕居候。

右八郎左衛門從弟助左衛門子

△喜之助 直入郡竹田町眞宗 当辰四拾八歳
光西寺旦那

右之助大野郡井上組打越村百姓仕罷在候処磯部丸左衛門殿御組に

内役奉公仕居候。

右八郎左衛門伯父助左衛門弟

△善右衛門 病死

右之者大野郡井上組打越村百姓仕罷有候処に貞享四年五月十九日

に七拾七歳にて病死、直入郡竹田町眞宗光西寺土葬。

右八郎左衛門從弟善右衛門子

△金左衛門 直入郡竹田町眞宗 当辰四拾貳歳
光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村百姓仕罷在候。

右八郎左衛門從弟善右衛門娘長兵衛妻

△くま 直入郡竹田町眞宗 当辰三拾八歳
光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村夫長兵衛一所に罷在候。

右八郎左衛門從弟、善右衛門娘吉兵衛妻

△こわ 直入郡竹田町眞宗 当辰三拾壹歳
光西寺旦那

右之女大野郡井上組打越村夫吉兵衛一所に罷在候。

右八郎左衛門母方伯父

△松兵衛 直入郡竹田町一向宗 当辰六拾四歳
光西寺旦那

右之者大野郡井上組打越村に百姓仕籠有候。

但此松兵衛妻井上組帳本人初の通りなり。

右八郎左衛門從弟善右衛門子

△甚五右衛門 直入郡竹田町眞宗 当辰四拾四歳

右之者大野郡井上組打越村百姓仕籠在候。

右八郎左衛門從弟善右衛門娘次五之丞妻

△せん 直入郡竹田町眞宗 当辰三拾四歳

右之者大野郡軸丸組下自在村弥五之丞一所に籠有候。

右八郎左衛門從弟、助左衛門娘次郎吉妻

△むく 直入郡挾田組柴栗村 当辰五拾九歳

右之者大野郡宇田枝村夫次吉郎一所に籠在候。

右之外に八郎左衛門類族無二御座一候。

◎かめ類族

右四郎右衛門聲かめ夫

△市左衛門 大野郡小宛村眞宗 当辰五拾歳

右之者大野郡軸丸組軸丸村に百姓仕籠有候。

右与三郎曾孫、四郎右衛門孫かめ娘

△つな 大野郡小宛村眞宗 当辰式拾四歳

右之者大野郡軸丸村父市左衛門と一所に籠在候。

右与三郎曾孫四郎右衛門孫かめ子

△鶉之助 大野郡小宛村眞宗 当辰式拾歳

右之者大野郡軸丸村父市左衛門と一所に籠在候。

右与三郎曾孫四郎右衛門孫かめ子

△菊之助 大野郡小宛村眞宗 当辰拾三歳

右之者大野郡軸丸村父市左衛門一所に籠在候。

右与三郎曾孫四郎左衛門孫かめ子

△松若 大野郡小宛村眞宗 当辰拾歳

右之者大野郡軸丸村父市左衛門一所に籠有候。

右与三郎曾孫四郎左衛門孫かめ子

△久馬之丞 病死

右之者大野郡軸丸村父市左衛門と一所に籠在候處、延宝貳年九月

五日參歳に而病死大野郡小宛村眞宗南林寺土葬。

右わめ舅

△新左衛門 病死

右之者大野郡軸丸村百姓仕籠在候處に貞享元年正月二十八日に六

拾九歳に而病死大野郡小宛村眞宗南林寺土葬。

右かめ姑新左衛門後家

△きく 大野郡小宛村眞宗 当辰七拾歳

南禪寺旦那

右之女大野郡軸丸村悻彦四郎と一所に罷在候。

右之外にかめ類族無^ニ御座一候。

古切支丹式拾八歳之軀

△庄右衛門

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷在候処、明暦貳年五月十七

日に六拾歳に而病死直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

寛文五年之帳に書載不^レ申者也

◎庄右衛門類族

右庄右衛門妻

△しを

病死

右之女大野郡軸丸組下自在村夫庄右衛門一所に罷有候処に明暦元

年六月晦日六拾式歳に而病死、直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

右庄右衛門舅

△与右衛門

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村に而百姓仕罷有候処に寛永九年六月

二日に六拾八歳に而病死直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

△与右衛門妻

病死

右之女夫与右衛門一所に罷在候処、四拾九年前に病死仕一向宗明

尊寺取置年月知不^レ申候。

右庄右衛門姑

△あかひ

病死

右之女大野郡軸丸組下自在村与右衛門一所に罷有候処に寛永拾七

年八月十六日六拾七歳に而病死仕大野郡田仲村眞宗明尊寺土葬。

右庄衛門軀以後の娘

△いん

病死

右之女大野郡軸丸村夫六之丞一所に罷有候処寛文四年五月十四日

に四拾三歳に而病死仕大野郡上自在村眞宗入樂寺土葬。

右庄右衛門翠いん夫

△六之丞

大野郡上自在村眞宗

当辰六拾九歳

右之者大野郡軸丸組軸丸村に而百姓仕罷有候処、当分石本平兵衛

様に御手代仕罷在候。

右庄右衛門孫いん子

△羽左衛門

大野郡上自在村眞宗

当辰三拾壹歳

右之者大野郡軸丸村に百姓仕罷有候。

右庄右衛門曾孫羽左衛門娘

△まく

大野郡上自在村眞宗

当辰五歳

右之女大野郡軸丸村父羽左衛門一所に罷有候。

右庄右衛門曾孫羽左衛門子

△藪助 大野郡上自在村真宗 当辰宍歳
入樂寺旦那

右之者大野郡軸丸村父羽左衛門一所に罷有候。

右庄右衛門曾孫いん娘重兵衛妻

△すき 大野郡上自在村 当辰三拾八歳
真宗入樂寺旦那

右之女大野郡軸丸村夫重兵衛一所に罷有候。

右庄右衛門曾孫すき子

△新之助 直入郡挾田組柴栗村 当辰式拾歳
真宗源勝寺旦那

右之者大野郡軸丸村父重兵衛一所に罷有候。

右庄右衛門曾孫すき子

△密之丞 直入郡挾田組柴栗村 当辰六歳
真宗源勝寺旦那

右之者大野郡軸丸村父重兵衛一所に罷有候。

右庄右衛門曾孫すき子

△富之助 直入郡挾田組柴栗村 当辰三歳
真宗源勝寺旦那

右之者大野郡軸丸村父重兵衛一所に罷有候。

右庄右衛門曾孫すき子

△こひさ 大野郡上自在村 当辰八歳
真宗入樂寺旦那

右之女大野郡軸丸村父重兵衛一所に罷有候。

右庄右衛門孫いん娘善左衛門後家

△こや 大野郡上自在村 当辰四拾五歳
真宗入樂寺旦那

右之女大野郡馬背戸組広石村夫權左衛門一所に罷有候に夫權左衛門病死仕当分後家に罷成右広石村に罷有候。

右庄右衛門曾孫こや子

△喜七郎 大野郡田仲村真宗 当辰式拾宍歳
最乗寺旦那

右之者大野郡馬背戸組広石村に百姓仕罷在候。

右庄右衛門曾孫こや娘

△つま 直入郡津原組馬場村 当辰式拾六歳
真宗満徳寺旦那

右之女直入郡木原組泉村夫何右衛門一所に罷在候。

右庄右衛門曾孫つま子

△菊之丞 大野郡津原組馬場村 当辰六歳
真宗満徳寺旦那

右之者直入郡木原組泉村夫何右衛門一所に罷有候。

右庄右衛門孫いん娘李之丞妻

△つる 大野郡上自在村真宗 当辰三拾六歳
入樂寺旦那

右之女大野郡馬背戸組小畑村夫李之丞一所に罷在候。

右庄右衛門曾孫つる子

△岩之助 直入郡津原組馬場村 当辰九歳
真宗満徳寺旦那

右之者父李之丞一所に罷在候。

右庄右衛門曾孫つる娘

△さより 直入郡津原組馬場村 当辰六歳
真宗満徳寺旦那

右之女大野郡馬背戸組小畑村父全之丞一所に罷在候。

右庄右衛門曾孫つる子

△李太郎 直入郡葎原組馬場村 当辰卷歳
眞宗満徳寺旦那

右之女大野郡馬背戸組小畑村父全之丞一所に罷有候。

右庄右衛門孫いぬ娘惣九郎妻

△あき 大野郡上自在村眞宗 当辰四拾七歳
入樂寺旦那

右之女大野郡太田組木野村夫惣九郎一諸に罷有候。

右庄右衛門転以後之子

△七左衛門 病死

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有候処に、寛文拾貳年十二

月十六日に四拾九歳に而病死仕直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

右庄右衛門娘七左衛門妻

△きく 病死

右之女大野郡軸丸組下自在村夫七左衛門一所に罷有候処に延宝七

年七月八日四拾五歳に而病死、直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

右庄右衛門孫七左衛門娘

△むく 病死

右之女大野郡軸丸組下自在村父七左衛門一所に罷有候処に天和三

年三月朔日に式拾六歳に而病死仕直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

右庄右衛門孫七左衛門子

△初七 直入郡竹田町禪宗 当辰式拾八歳
豊音寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓罷在候。

右庄右衛門孫七左衛門娘

△いと 直入郡竹田町禪宗 当辰式拾七歳
豊音寺旦那

右之女大野郡今山村權右衛門年切之質に召仕居候。

右庄右衛門転以後之子

△弥太兵衛 直入郡竹田町禪宗 当辰五拾六歳
豊音寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候。

右庄右衛門嫁弥太兵衛妻

△みや 直入郡挾田組柴栗村 当辰四拾六歳
眞宗源勝寺旦那

右之女大野郡軸丸組下自在村弥太兵衛一諸に罷在候。

右庄右衛門孫弥太兵衛子

△与太郎 直入郡竹田町禪宗 当辰拾壹歳
豊音寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村父弥太兵衛一所に罷有候。

右之外に庄右衛門類族無二御座一候。

◎内藏之助類族

古切支丹式拾七歳之助

△内藏之助 此内藏之助父母吟味仕候。病死
年久敷儀に付知不_レ申候。

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候処、寛永貳年七月九日に三拾八歳に病死仕直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候処、六拾四年以前に病

死仕一向宗十川滝上寺取置候。年知れ不_レ申候。

右之内藏之助子五歳之軀

△与右衛門

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候処に寛文拾貳年十月

二十日に六拾四歳に而病死仕直入郡十川眞宗滝上寺土葬。

右内藏之助類族

△内藏之助妻

病死

右之女内藏之助一所に罷在候処に、四拾年之前に病死仕、寺、年

知れ不_レ申候。

此きく父母知れ不_レ申

△内藏之助妻きく

病死

右之女大野郡軸丸組下自在村夫内藏之助一所に罷有候処、万治三

年二月十二日七拾歳に而病死、大野郡上自在村一向宗入樂寺土葬。

◎与右衛門類族

右内藏之助嫁与右衛門妻

△たね

直入郡十川眞宗
滝上寺旦那

当辰六拾六歳

右之女大野郡軸丸組下自在村夫伴右衛門一所に罷在候。

右与右衛門舅

△十右衛門

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候処に寛永五年七月二

十一日に三拾九歳に而病死仕大野郡小宛村禪宗天徳寺土葬。

右与右衛門姑十右衛門妻

△いし

病死

右之女大野郡軸丸組下自在村夫十右衛門一所に罷有候処に正保元

年三月十八日に五拾貳歳にて病死仕直入郡挾田組柴栗村眞宗源勝寺

土葬。

右内藏之助継孫与右衛門継子

△伴右衛門

直入郡十川眞宗
滝上寺旦那

当辰四拾歳

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷有候。此伴右衛門妻板井

迫組平井村本人茂右衛門孫故、右衛門条下に書上候。

子供未無_二御座_一候。

右内藏之助孫与右衛門娘

△すて

直入郡十川眞宗
滝上寺旦那

当辰三拾五歳

右之女兒伴右衛門一所に罷在候処当分田近又右衛門様に質御奉公

仕居候。

右与右衛門繼孫伴右衛門娘

△うく 一向宗大野郡上自在村 当辰宍歳 入樂寺旦那

右之女大野郡軸丸組下自在村父伴右衛門一所に罷在候。

右之外に与右衛門類族無^二御座^一候。

◎弥市右衛門類族

右五郎助子六歳之転

△弥市右衛門 病死

右之者大野郡軸丸組下自在村に百姓仕罷在候処、延宝四年七月二

日に六拾八歳に而病死、大野郡上自在村眞宗入樂寺土葬。

右五郎助嫁弥市右衛門妻

△うふ 此うな父母堅吟味仕候寛年覚知不^レ申。病死

右之女大野郡軸丸組下自在村夫弥市右衛門一所に罷有候処に、寛

文二年十月十九日五拾宍歳に而病死仕大野郡上自在村眞宗入樂寺土

葬。

右五郎助孫。弥市右衛門転以後之子

△道齋 大野郡上自在村眞宗 当辰五拾五歳 入樂寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村医師仕罷在候。

右五郎助孫、弥市右衛門転以後之娘道齋妹

△まん 大野郡上自在村眞宗 当辰四拾六歳 入樂寺旦那

右之女大野郡宇田枝組高代村三吉妻に參り男子菅人持延宝式年七月六日に離別仕躬仁吉召列兄道齋所に罷歸り一所居申候。

右弥市右衛門聲。ませ夫

△三吉 出奔

右之者大野郡宇田枝組高代村に百姓仕罷在候処に貞享元年八月七

日に四拾四歳に而欠落仕行衛知不^レ申候。宗門之儀者大野郡宇田

枝村禪宗宝生寺旦那。

右五郎助曾孫弥市右衛門孫ませ子

△仁吉 大野郡宇田枝村禪宗 当辰拾七歳 宝生寺旦那

右之者大野郡軸丸組下自在村伯父道齋一所に罷有候。

右之外に弥市右衛門類族無^二御座^一候。

古切支丹拾四歳転。

△弥三郎 病死

右之者大野郡軸丸組下自在村七左衛門名子仕罷有候処に寛文九年

十月十九日六拾七歳に而病死仕、直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

弥三郎妻

△あい 病死

左之女大野郡軸丸組下自在村夫弥三郎一所に罷有候処に万治元年

十一月十八日五拾式歳に而病死仕直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

右弥三郎転以後子

△松龜

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村父弥三郎一所に罷在候処に寛文七年六月二十七日に四拾歳に而病死仕、直入郡竹田町禪宗豊音寺土葬。

右弥三郎類族此外に無二御座一候。

古切支丹四拾歳転

△作助

此作助夫婦之者若年之時曰杵御領より参候由承伝者候。それ故父母知不申

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村百姓仕罷有候処に、寛永拾七年三月十五日に五拾八歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大禪寺土葬。

右作助妻

△さし

病死

右之者大野郡軸丸組下自在村夫作助一所に罷有候処に、正保貳年九月二十一日に六拾五歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大禪寺土葬。

古切支丹

右作助娘拾九歳之転与左衛門妻

△あかひ

病死

右之者大野郡川宇田組知田村夫与左衛門一所に罷在候処に寛文九年七月十一日に七拾式歳に而病死仕直入郡竹田町眞宗光西寺土葬。

右作助聲あかひ夫

△与左衛門

病死

右之者大野郡河宇田組知田村に百姓仕罷有候処に、寛永八年三月二十五日三拾五歳に而病死仕直入郡竹田町眞宗光西寺土葬。

右作助孫あかひ子

△喜七郎

病死

右之者大野郡河宇田組知田村に百姓仕罷有候処に延宝貳年六月十六日に五拾七歳に而病死仕直入郡竹田町眞宗光西寺土葬。

右あかひ嫁喜七郎妻

△かめ

病死

右之者大野郡河宇田組知田村夫喜一郎一所に罷有候処に、承応三年四月十五日式拾四歳に而病死仕直入郡竹田町眞宗光西寺土葬。

右作助曾孫あかひ孫喜七郎子

△半四郎

出奔

右之者大野郡河宇田組知田村父喜七郎一緒に罷有候処延宝五年六月三日に式拾八歳に而欠落仕行衛知れ不申候。宗門之儀は直入郡竹田町眞宗光西寺旦那

田町眞宗光西寺旦那

右作助孫あかひ子喜七郎弟

△庄藏

病死

右之者大野郡河宇田組知田村に百姓仕罷有候処に寛文拾年六月九

日に四拾六歳に而病死仕直入郡竹田町眞宗光西寺土葬。

右あかひ嫁庄藏妻

△つる

病死

右之女大野郡河宇田組知田村夫庄藏一緒に能有候処に寛文元年九月二十八日三拾三歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右作助曾孫あかひ孫庄藏子

△亀七

直入郡竹田町眞宗光西寺旦那

当辰三拾四歳

右之者大野郡川宇田組知田村に百姓仕罷有候。

右あかひ舅

△久右衛門

病死

右之者大野郡河宇田組知田村に百姓仕罷在候処に寛永三年十一月十一日に六拾貳歳に而病死仕大野郡今山村禪宗吉祥寺土葬。

右あかひ姑

△かち

病死

右之女大野郡河宇田組知田村夫久右衛門一所に能有候処に寛永六年四月八日に五拾七歳に而病死仕大野郡今山村禪宗吉祥寺土葬。

右之外に作助類族無二御座一候。

古切支丹六拾歳之転

△主殿

此主殿父母吟味仕候処之年久敷に付知不_レ申候。

病死

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷有候処に元和六年三月十一日に六拾三歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

古切支丹、右主殿妻五拾八歳之転

△よな 此之女父母知不_レ申候。

右之女大野郡軸丸組馬場村夫主殿と一所に能有候処に元和三年五月二日に六拾歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

古切支丹、右之主殿子四拾歳之転

△新助

病死

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷有候処に寛永元年五月十日二拾五歳に而病死大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

古切支丹右主殿、新助養子式拾歳之転

△新左衛門 此新左衛門実の父母義久敷儀候

而吟味仕候事知不_レ申候。 病死

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候処に寛文六年十月二十九日に七拾弍歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

古主殿類族

△右新左衛門<実父馬場村新四郎夫婦先年病死仕井上村禪宗大福寺取置申候。何年何月何日何歳にて病死仕候か不_二存申一候。

右主殿嫁右新助妻

△きよ

病死

右之女大野郡軸丸組馬場村夫新助一所に能有候処に寛永七年三月二日に四拾九歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

主殿孫新助孫新左衛門妻

△にし 此にし父母堅吟味仕候。久しく知不_レ申候病死。

右之妻新左衛門と一所に罷在候処に万治元年六月十九日に六拾歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右主殿曾孫新助孫新左衛門子

△作左衛門

病死

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候処に寛文三年十月十五日に拾四歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右新左衛門娘作左衛門後家

△にく 大野郡井上村禪宗 当辰五拾貳歳

右之女大野郡軸丸組馬場村鞆善九郎一所に罷在候。

右主殿玄孫新助曾孫、新左衛門孫善九郎妻

△ます 大野郡井上村禪宗 当辰三拾壹歳

右之女大野郡軸丸組馬場村百姓夫善九郎一所に罷在候。

新左衛門曾孫作左衛門孫善九郎娘

△かあ 大野郡井上村禪宗 当辰九歳

右之女大野郡軸丸組馬場村善九郎一所に罷在候。

右新左衛門曾孫作左衛門孫善九郎娘

△まんこ 大野郡井上村禪宗 当辰五歳

右之女大野郡軸丸組馬場村父善九郎一所に罷在候。

右新左衛門孫作左衛門子

△菊助 大野郡井上村禪宗 当辰貳拾四歳

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候。

右主殿曾孫新助孫新左衛門軀以後子

△孫作 大野郡井上村禪宗 当辰四拾七歳

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候。

右新左衛門孫右孫作子

△庄作 大野郡井上村禪宗 当辰拾九歳

右之者大野郡軸丸組馬場村父孫作一所に罷在候。

右新左衛門孫、孫作子

△助次郎 大野郡井上村禪宗 当辰拾五歳

右之者大野郡井上組打越村百姓茂吉繼子同村金左衛門に年切之質に召置申候。右之者母軸丸組馬場村孫作女房に而御座候処に離別仕

右之助次郎召列大野郡井上組打越村茂吉妻に而打越村茂吉一所に罷在候。

右新左衛門妹喜兵衛妻

△ほそ 病死

右之女大野郡軸丸組馬場村百姓夫喜兵衛と一所に罷有候処に寛文拾年霜月五日に六拾壹歳に而病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土葬。

右新左衛門甥ほそ子

△喜兵衛 大野郡井上村禪宗 当辰五拾壹歳
大福寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候。

右新左衛門甥ほそ子

△作左衛門 大野郡井上村禪宗 当辰四拾壹歳
大福寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候。

辰十一月八日病死

右新左衛門弟新四郎子

△小右衛門 大野郡井上村禪宗 当辰七拾四歳
大福寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村佐左衛門一所に罷在候此小右衛門父母は切支丹に而は無二御座一候。先新左衛門新助養子に罷在其身転と書上申候に付此新左衛門弟と書載せ候。

右新左衛門妹、又兵衛妻

△きよ 病死

右之女大野郡日小田組長小野村夫、又兵衛と一所に罷有候処に、天和武年六月十日に七拾五歳にて病死仕大野郡井上村禪宗大福寺土

葬。

右新左衛門姪きよ娘長左衛門妻

△みや 直入郡竹田町眞宗 当辰五拾六歳
光西寺旦那

右之女大野郡日小田組長小野村百姓夫長左衛門一所に罷有候。

右新左衛門甥きよ子

△又兵衛 大野郡井上村禪宗 当辰五拾壹歳
大福寺旦那

右之者大野郡日小田組長小野村百姓仕罷有候。

右新左衛門甥きよ子

△門右衛門 大野郡井上村禪宗 当辰四拾壹歳
大福寺旦那

右之者大野郡日小田組長小野村百姓仕罷有候処当分三佐御用之中

間相对仕罷有候。

右新左衛門姪きよ娘専右衛門妻

△きく 大野郡田仲村禪宗 当辰六拾四歳
最乗寺旦那

右之女大野郡直北組北園村百姓夫専右衛門一所に罷有候。

古切支丹五拾九歳にて転

△次郎右衛門 出奔

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷有候。直入郡竹田法花宗蓮成寺旦那に罷成五拾年以前に舩新藏召列行衛不_レ知相走申候。

右次郎右衛門妻

△くら 此くら父母堅吟味仕候へ共知不^レ申 病死

右之女大野郡軸丸組馬場村夫、次郎右衛門一所に罷在候処に元和

右之女大野郡軸丸組馬場村に夫与三兵衛一所に罷在候処に天和三年六月八日二拾八歳に而病死大野郡軸丸組馬場村真宗善照寺土葬。

六年八月三日五拾六歳（四拾貳年）に而病死竹田町法花宗蓮成寺土葬。

葬。

右次郎右衛門曾孫新藏孫、与三兵衛子
△藤左衛門 大野郡軸丸組馬場村 当六拾九歳
真宗善照寺旦那

右次郎右衛門不^レ転以前之子

右之者大野郡軸丸組馬場村に而百姓仕罷在候。

△新藏

出奔

右新藏曾孫藤左衛門子

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候処に五拾年以前に貳拾五

△吉兵衛 大野郡軸丸組馬場村 当辰四拾四歳
真宗善照寺旦那

歳に而父次郎右衛門召列行衛不^レ知相走り申候。

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷在候。

右新藏妻

右新藏玄孫吉兵衛娘

△せん 此せん父母堅吟味仕候へ共知^二不申^一候。 出奔

△りん 大野郡軸丸組馬場村 当辰拾九歳
真宗善照寺旦那

右之女大野郡軸丸組馬場村夫新藏と一所に罷在候処に、寛永十一

右之女大野郡軸丸組馬場村父吉兵衛と一所に罷在候。

年二月十日四拾六歳に而夫新藏召列出奔仕行衛知れず、相走り申候。

右新藏玄孫吉兵衛子

又元和六年八月三日に貳拾三歳病死竹田町法花宗蓮成寺土葬。

△虎 大野郡軸丸組馬場村 当辰七歳
真宗善照寺旦那

右次郎右衛門、新藏之類族

右之者大野郡軸丸組馬場村父吉兵衛と一所に罷在候。

△与三兵衛

病死

右新藏玄孫吉兵衛娘

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕罷有候処に延宝八年極月十九日

△こほ 大野郡軸丸組馬場村 当辰壹歳
真宗善照寺旦那

に八拾歳に而病死直入郡飛田組平村法花宗内福寺土葬。

右之女大野郡軸丸組馬場村父吉兵衛と一所に罷在候。

右新藏娘与三兵衛妻

右新藏曾孫、藤左衛門子

△こや

病死

△理左衛門 大野郡軸丸組馬場村 当辰三拾四歳
真宗善照寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕能有候。

右藤左衛門孫理左衛門娘

△せん 大野郡軸丸組馬場村 当辰壹歳
眞宗善照寺旦那

右之女大野郡軸丸組馬場村父理左衛門一所に罷在候。

右新藏曾孫藤左衛門子

△善九郎 大野郡井上村禪宗 当辰三拾九歳
大福寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕能有候。

右新藏孫与三兵衛子

△進之丞 大野郡軸丸組馬場村 当辰四拾四歳
眞宗善照寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕能有候。

右新藏曾孫進之丞子

△孫平次 大野郡軸丸組馬場村 当辰拾九歳
眞宗善照寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村父進之丞と一所に罷在候処に当年掛御奉公に仕申候。

右新藏曾孫進之丞子

△辰之助 大野郡軸丸組馬場村 当辰拾貳歳
眞宗善照寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村に而父進之丞と一所に罷有候。

右新藏曾孫、進之丞娘

△くに 大野郡軸丸組馬場村 当辰六歳
眞宗善照寺旦那

右之女大野郡軸丸組馬場村父進之丞と一所に罷在候。

右新藏曾孫、進之丞子

△浦之助 大野郡軸丸組馬場村 当壹歳
眞宗善照寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村父進之丞一所に罷在候。

右新藏曾孫、進之丞娘

△寸な 大野郡軸丸組馬場村 当壹歳
眞宗善照寺旦那

右之女大野郡軸丸組馬場村進之丞一緒に罷在候。

右新藏孫与三兵衛之子

△五左衛門 直入郡飛田組平村 当六拾壹歳
法花宗内福寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓仕能有候。

右新藏曾孫五左衛門子

△惣五郎 大野郡軸丸組馬場村 当貳拾七歳
眞宗善照寺旦那

右之者大野郡軸丸組馬場村父五左衛門と一所に罷在候。

右新藏玄孫惣五郎娘

△ふう 大野郡軸丸組馬場村 当壹歳
眞宗善照寺旦那

右之女大野郡軸丸組馬場村父惣五郎と一所に罷在候。

古切支丹

△了意 病死

右之者大野郡軸丸組馬場村百姓罷有候処に慶長十八年三月十五日七拾五歳に而病死仕候。

この了意先年旧曰杵嶺より參り申候。寛文五年之改之砌、繼係無二御座一候。

転切支丹甚兵衛系

△甚兵衛

病死

右之者百拾年前以前元和元年乙卯年四拾歳に而宗門転、直入郡有氏組湯上村百姓仕罷有候処承応元壬辰年二月十一日八拾歳に而病死仕り、直入郡仏原組市村一向宗明円寺土葬に取置申候。

但しこの甚兵衛父母年久敷儀故知れ不レ申候。

転切支丹先甚兵衛妻

△いま

病死

右之女直入郡有氏組湯上村百姓夫甚兵衛一所に罷有候処承応元壬辰年二月十一日に七拾五歳に而病死仕直入郡仏原組市村明円寺土葬に取置申候。

転切支丹先妻甚兵衛嫡男、転切支丹。

△一、甚兵衛

病死

右之者百拾年以前元和元乙卯年式拾壹歳に而宗門転、直入郡有氏組湯上村百姓仕罷有候処、延宝式甲寅年三月二十一日に八拾壹歳に而

病死仕直入郡仏原組市村一向宗明円寺土葬取置申候。

転切支丹後甚兵衛妻

△むす

病死

右之女直入郡有氏組湯上村百姓夫甚兵衛一所に罷有候処寛文二十二年壬子年九月九日に七拾壹歳に而病死仕直入郡仏原組市村一向宗明円寺土葬に取置申候。

転切支丹後甚兵衛嫡男

△市左衛門

病死

右之者直入郡有氏組湯上村百姓仕罷有候処に元禄十七甲申年二月二十九日八拾壹歳に而病死仕直入郡仏原組市村一向宗明円寺に土葬に取置申候。

転切支丹後甚兵衛嫡女市左衛門妻

△さわ

病死

右之女直入郡有氏組湯上村百姓夫市左衛門一所に罷有候処元禄十六癸未年四月二十六日七拾壹歳に而病死仕直入郡仏原組市村一向宗明円寺無住に付同郡有氏組小柳村一向宗安照子土葬取置申候。

転切支丹後甚兵衛二男

△一、道行

病死

右之者直入郡有氏組湯上村百姓俸三助一所に罷有候処元禄十六癸

末年三月二十七日に七拾壹歳に而病死仕直入郡仏原組市村明円寺無

住に付同郡有氏組小柳村一向宗安照寺土葬に取置申候。

但し夫は類族に而無^二御座^一候。

但妻は五拾三年以前に離別仕無^二御座^一候。

△いわ 一向宗明円寺旦那 当辰七拾貳歳

右之女直入郡有氏組湯上村百姓弟三同一所に罷在候。

但し夫無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛孫市左衛門子

△三内 一向宗明円寺旦那 当辰六拾七歳

右之者直入郡有氏組湯上村百姓仕罷有候。

但妻は有氏組向原村百姓清兵衛娘なるも類族に無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛孫道行子

△三助 一向宗明円寺旦那 当辰六拾歳

右之者直入郡有氏組湯上村百姓仕罷有候。

但妻は有氏組湯上村百姓与平次娘つき類族に無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛孫道行娘

△かち

病死

右之女直入郡有氏組向原村百姓夫伝右衛門一所罷有候処元禄七甲
戌年二月二十日式拾七歳に而病死仕直入郡玉来村一向宗真正寺土葬

に取置申候。

但し夫は類族に而無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛曾孫三内娘

△きや 一向宗明円寺旦那 当辰三拾七歳

右之女直入郡有氏組湯上村百姓父三内一所に罷有候。

但し夫無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛曾孫三助娘

△ふり 一向宗明円寺旦那 当拾九歳

右之女寛永三丙戌年四月十三日出生仕、直入郡有氏組湯上村百姓

父三助一所に罷有候処に同組向原村百姓夫津右衛門一所に罷有候。

但し夫は類族に而無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛曾孫三助娘

△さな 一向宗明円寺旦那 拾三歳

右之女正徳二壬辰年九月三日に出生仕直入郡有氏組湯上村百姓夫

父三助一所に罷有候。但し夫無^二御座^一候。

軫切支丹後甚兵衛孫三助子

△友七 一向宗明円寺旦那 当七歳

右之者享保三戊戌年九月十九日に出生仕直入郡有氏組湯上村百姓
父三助一所に罷有候処に享保五庚子年七月十七日三歳に而病死仕直

入郡仏原組市村一向宗明円寺土葬に取置申候。

転切支丹後甚兵衛曾孫三助娘

△なつ

病死

右之女享保七壬寅年八月三日出生仕直入郡有氏組湯上村百姓父三

三助一所に罷有候処に享保八癸卯年四月二十八日式歳に而病死仕直

入郡仏原組市村一向宗明円寺に土葬取置申候。

転切支丹先甚兵衛舅

△弥一郎

病死

右之者直入郡有氏組湯上村百姓仕罷有候処、承応式癸巳年正月十

九日に九拾六歳に而病死直入郡仏原組市村一向宗明円寺土葬に取置

申候。

転切支丹先甚兵衛姑

△しを

病死

右之女直入郡有氏組湯上村百姓夫弥市郎一所に罷有候処、承応三

甲午二月十日に九拾七歳に而病死仕直入郡仏原組市村一向宗明円寺

に土葬取置申候。

転切支丹甚兵衛舅

△吉左衛門

病死

右之者御公領直入郡下田北之内二保村百姓仕罷有候処寛文五乙巳

年五月十日に八拾参歳に而病死仕直入郡下田北之内城後村一向宗知

雲寺土葬に取置申由及^レ承申候。

転切支丹後甚兵衛姑

△きく

病死

右之女御公領直入郡下田北之内二保村百姓夫吉左衛門一所に罷有

候処寛文五乙巳年八月十日に八拾歳に而病死仕直入郡下田北之内城

後村一向宗知雲寺土葬に取置申由及^レ承申候。

転切支丹風間系

△風間

死罪

右之者直入郡有氏組百姓仕罷有候処百拾年以前之御改に宗門転不

申候に付死罪被^二仰付^一候。何年何月に何拾歳に而死罪被^二仰付^一

候茂寛申者、無^二御座^一候。但し此風間父母並舅姑年久敷に而知

れ不^レ申候。

古切支丹風間妻

△こね

病死

右之女直入郡有氏村百姓夫風間一所に罷有候処に百六拾六年以前

に病死仕申候。何年何月に何拾歳に而病死仕取置寺も年久敷儀に御

座候得ば位牌なども無^二御座^一に付寛申者無^二御座^一候。

古切支丹風間嫡男転切支丹

△仁右衛門

病死

軼切支丹仁右衛門二女

右之者百拾年以前元和元乙卯年三拾五歳に而宗門軼直入郡有氏村

△むす

病

百姓仕罷有候処寛文六丙午年七月二十日に八拾七歳に而病死仕、直

入郡律原組馬場村満徳寺土葬に取置申候。

右之女直入郡有氏村百姓夫角助病死已後、同村百姓悴藤藏一所に罷有候処に宝永三丙戌年正月晦日に八拾三歳に而病死仕直入郡

軼切支丹仁右衛門妻

飛田組平村一向宗満徳寺土葬に取置申候。

△きた

病死

但し夫は阿蘇野組帳治部系本人同前角助に御座候。

右之女百拾年以前元和元乙卯年式拾八歳に而宗門軼直入郡有氏村

百姓夫仁右衛門一所に罷有候処に寛文九己丙年十月十日に八拾式歳

△たね

病死

に而病死仕直入郡律原組馬場村一向宗満徳寺土葬に取置申候。

右之女直入郡有氏村百姓夫左助病死已後同村百姓悴吉十郎一所

軼切支丹仁右衛門嫡女

に罷有候処宝永四丁癸辛十二月三日に七拾七歳に而病死仕直入郡

△一あかい

病死

竹田一向宗光西寺土葬に取置申候。

右之女先年肥後御領阿蘇郡半田村百姓吉右衛門妻遣置申候処に元

禄三庚午年六月廿二日に八拾歳に而病死仕阿蘇郡宮ノ原観正寺土葬

但し夫は有氏組帳与助系軼切支丹教了四男佐介に而御座候。

に取置申由及承申候。

△こつ 一向宗観正寺旦那 当九拾式歳

軼切支丹仁右衛門婿あかい夫

右之女肥後御領阿蘇郡半田村百姓弟安右衛門一所に罷有候。

△吉右衛門

病死

軼切支丹仁右衛門孫あかい子

右之者阿蘇郡半田村百姓仕罷有候処に寛文七丁末年二月二十九日

に五拾七歳に而病死仕阿蘇郡宮ノ原一向宗観正寺土葬に取置申候由及

△又右衛門 一向宗観正寺旦那 当八拾八歳

及承申候。

軼切支丹仁右衛門孫あかい子

△安左衛門 一向宗觀正寺旦那 当八拾壹歳

右之者肥後御領阿蘇郡半田村百姓仕能有候。

軼切支丹仁右衛門孫あかい娘

△こま 一向宗善養寺旦那 当七拾七歳

右之女肥後御領阿蘇野閑田村百姓夫八助一所に能有候。

軼切支丹きた弟

△七右衛門

病死

右之者直入郡有氏組七里田村百姓能有候処に延宝四丙辰年四月二

十九日六拾六歳に而病死仕、直入郡有氏組小柳村一向宗安照寺土葬に取置申候。

軼切支丹きた姪七右衛門娘

△ふく

病死

右之女直入郡阿蘇野組上重村百姓久兵衛病死後家にて能有候処宝

永七庚寅年九月二十三日に八拾三歳に而病死仕直入郡竹田一向宗光西寺病氣に付同郡飛田組瀬口村一向宗仏藏寺土葬取置候。

軼切支丹きた甥七右衛門子

△七左衛門

病死

右之者直入郡有氏組七里田村百姓仕能有候処、元禄五壬午年十月

二十八日七拾壹歳に而病死仕直入郡有氏組小柳村一向宗安照寺土葬

に取置申候。

軼切支丹きた甥七左衛門子

△七郎左衛門

病死

右之者直入郡有氏組七里田村百姓仕能有候処、宝永七庚寅年閏八

月二十日に七拾六歳に而病死仕直入郡有氏組小柳村一向宗安照寺土葬に取置申候。

但し妻は類族に而無^二御座^一候。

軼切支丹きた甥七左衛門子

△左次兵衛

病死

右之者直入郡有氏組七里田村百姓仕能有候処、元禄五壬申二月十四日に五拾五歳に而病死仕直入郡有氏組小柳村一向宗安照寺土葬に

仕候。

但し妻は無^二御座^一候。

軼切支丹仁右衛門舅

△休意

病死

右之女直入郡有氏組七里田村百姓仕能有候処宝永拾五戊寅年三月

四日七拾壹歳に而病死仕直入郡有氏組小柳村一向宗安照寺土葬に仕候。

軼切支丹仁右衛門姑

△かつ

病死

右之女直入郡有氏組七里田村百姓夫休意一所に能有候処慶安元戊子年六月二日に八拾貳歳に而病死仕直入郡有氏組小柳村一向宗安照寺に土葬取置申候。

三庚寅年十月十二日に七拾貳歳に而病死仕直入郡竹田一向宗光西寺土葬に取置申候。

但し妻は類族に而無二御座一候。

本人庄左衛門甥喜左衛門子

古切支丹庄左衛門系

△李右衛門

病死

△庄左衛門

死罪

右之者直入郡有氏組百姓仕能有候処、百拾年以前の御改に宗門転不レ申に付死罪に被二仰付一候由、右老之者共承伝申候何年何月に何拾歳に而死罪被二仰付一候共承伝不レ申候。

右之者直入郡有氏村百姓悴九右衛門一所に能有候処に元禄五壬申年十月十九日に九拾貳歳に而病死仕直入郡津原組馬場村一向宗満徳寺土葬に取置申候。

但し妻は類族に而無二御座一候。

本人庄左衛門甥喜左衛門子

本人庄左衛門弟

△次郎右衛門

病死

△喜左衛門

病死

右之者終に切支丹に不二罷成一 直入郡有氏村百姓仕能在候処慶安元戊子年四月七日七拾八歳に而病死仕直入郡竹田一向宗光西寺に土葬取置申候。

右之者直入郡有氏村百姓仕能有候処に延宝六戊午年五月二十七日に七拾貳歳に而病死仕直入郡竹田一向宗光西寺土葬に取置申候。

但し妻は類族に而無二御座一候。

本人庄左衛門甥伊兵衛子

但妻は類族に而無二御座一候。

△權左衛門

病死

本人庄左衛門弟

△伊兵衛

病死

右之者終に切支丹に不二罷成一 直入郡有氏村百姓仕能有候処慶安

右之者直入郡有氏村に百姓仕能有候処に天和三癸亥年八月五日に七拾七歳に而病死仕直入郡竹田一向宗光西寺土葬に取置申候。

但し妻は類族に而無二御座一候。

△九郎左衛門

此者肥後御領野津原の内、溜水村の父理七郎儀も切支丹の者に而
被_二召捕_一長崎江。この者大野郡酒井寺組門前村に百姓仕罷在候処、
寅の二月十四日四拾壹歳に而長崎へ居留。二女本人同然酒井寺組門
前村に居住。

転本人喜左衛門舅

△藤右衛門

病死

右之者大野郡酒井村に百姓仕罷有候処午の十月二十九日八拾八歳
に而病死禪宗片島村宝福寺土葬取置申候。

以下省略